

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

## 阪急交通社グループ 旅行概況(2月分)について

2024年2月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

### 株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	9,562,181	2,257,723	423.5%	8,170,221	117.0%
国内旅行	8,746,391	7,632,066	114.6%	6,613,816	132.2%
訪日旅行	23,670	54,833	43.2%	62,761	37.7%
合計	18,332,242	9,944,622	184.3%	14,846,798	123.5%

#### 【概況】

2月の営業概況は、総取扱額183億3,224万2千円、2019年度同月比123.5%となりました。

海外旅行は、2月の出国日本人数が2019年同月比で63.8%と前月より6.1ポイント増となり、緩やかな増加傾向にあるものの、長引く円安や燃油高の影響で、市場の回復は限定的です。

こうした中、当社ではベストシーズンを迎えるエジプトや円安・燃油高の環境の中でも比較的手頃な旅行代金のトルコの募集告知を強化したほか、需要が旺盛な日本発着クルーズのテレビ通販を全国各地で実施しました。

その結果、エジプトとトルコの集客が2019年度同月比の9割まで回復したほか、日本発着クルーズが大きく伸長しました。

海外旅行全体の取扱高は、前年度同月比423.5%、2019年度同月比117.0%となりましたが、2019年度2月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けているため、当月の当社の海外旅行の回復は未だ限定的です。

国内旅行は、景気回復の足踏みや消費者物価の緩やかな上昇がある中、需要は底堅く推移しています。

こうした中、当社では冬の風物詩をテーマとする旅行商品や温暖な沖縄を中心に離島の募集告知を強化し、冬季の需要喚起に取り組みました。その結果、北海道の流氷や札幌の雪まつり、蔵王の樹氷を訪ねる旅が前年同期比 1.3 倍となったほか、八重山諸島を巡る旅が 1.6 倍に伸長しました。方面別では北海道、沖縄に加えて、関東、九州が前年を上回りました。

国内旅行全体の取扱高は前年同月比 114.6%となり、堅調に推移しました。

## 株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	2,902,742	2,484,907	116.8%	1,583,362	183.3%
国内旅行	146,772	125,537	116.9%	164,268	89.3%
訪日旅行	77,191	0	—	27,483	280.9%
合 計	3,126,707	2,610,445	119.8%	1,775,114	176.1%

※前年および 2019 年度同月取扱高は、阪神トラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2 社内取引を相殺したものです。

### 【概況】

2 月の営業概況は、総取扱額 31 億 2,670 万 7 千円、前年同月比 119.8%、2019 年度同月比では 176.1%となりました。

海外旅行は、全般的に業務渡航が好調に推移し、前年同月比 116.8%となりました。

国内旅行は、業務出張および団体旅行が堅調で、前年同月比 116.9%となりました。

## グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	12,040,457	4,746,088	253.7%	9,700,991	124.1%
国内旅行	8,862,416	7,724,793	114.7%	6,718,983	131.9%
訪日旅行	100,861	54,833	183.9%	90,244	111.8%
合 計	21,003,734	12,525,715	167.7%	16,510,218	127.2%

※グループ内取引を相殺したものです。

### <本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724